



ROTARY CLUB OF OSAKA JONAN

WEEKLY BULLETIN

創 立 1969. 5. 30 会 長 井 上 裕 貴
幹 事 中 谷 徹 雄 会 報 委 員 長 大 原 文

RI 2660地区
大阪城南ロータリークラブ

NO. 2200

2014-9-30

事務所 〒542-0012 大阪市中央区
谷町9丁目1番22号NK谷町ビル407号
TEL(06)6796-9898 FAX(06)6796-9899
http://www.osaka-johnan-rc.org/
E-mail:johnan25@crocus.ocn.ne.jp
例会場 シェラトン都ホテル大阪 上本町6-1-55
TEL (06)6773-1111
例会日 金曜日 12:30

LIGHT UP ROTARY

ロータリーに輝きを

2014-2015年度国際ロータリー会長 ゲイリー C. K. ホエン

本日の例会) 9月30日(第4例会)

●大阪東南 RC と合同例会

(例会日・時間・場所変更) 18:00 ~
ホテルニューオータニ大阪 2階 鳳凰の間

ホームクラブ出席率 95.83%

9月5日(第1例会) 補正出席率 100% (MU 2名)

●ゲスト&ヴィジター(敬称略)

泉 博朗 (ガバナー)

川上富清 (RI2660 地区代表幹事)

佐々木恭一 (大阪東 RC)

次週のお知らせ) 10月3日(第1例会)

●表彰・ホームクラブ連続皆出席

●お祝・還暦 誕生日 結婚記念日
入会記念日 会社創立記念日

●卓話 「歯科医療の現状について(最終章)」

西 一幸会員

●理事会 11:30 ~ 12:10

シェラトン都ホテル大阪 3階
フラワーシャワーエリア

●食膳 <日本料理 松花堂弁当>

◆会長の時間◆

本日はガバナー公式訪問日です。2660地区泉ガバナーをお迎えして、会員一同心から歓迎いたします。ガバナーの公式訪問は、ロータリーの重要な問題に主眼を置きロータリアンに関心を持たせるとともに、意欲を起こさせ奉仕活動に参加させることと定義されています。泉ガバナーの本年度の具体的な地区方針は1.クラブの主体性の重視 2.地域と連携した奉仕活動の推移 3.地域から見てわかりやすい奉仕活動の推進を申されています。本日の講話よろしくお願ひいたします。

次々週のお知らせ) 10月10日(第2例会)

●卓話 「ステンレス輝く暮らしのパートナー」

佐伯為次会員

◆幹事報告◆

2014-2015年度 青少年奉仕委員会正副委員長
会議開催のご案内が地区より来ています。

クラブ青少年奉仕委員会に回付致します。

先週の記事) 9月19日(第3例会)

●出席報告

出席会員 42名 (内免除会員 13名)

会員総数 51名 (同上 16名)

ゲスト 1名

ヴィジター 2名

計 45名

◆委員会報告◆

「大阪城南RC第1回ゴルフコンペのご案内」

ゴルフ部 キャプテン 村上武史

平成26年9月27日(土)に泉ヶ丘カントリークラブにて合計16名にて開催致します。

合わせて昨年の(永井年度)の取切戦も行います。

9月は新世代のための月間です!!

「大阪城南ロータリークラブ公式訪問講話」

国際ロータリー第2660地区ガバナー 泉 博朗様



皆様こんにちは。本年度、地区ガバナーを仰せつかりました大阪帝塚山ロータリークラブの泉でございます。本日は敬愛する大阪城南ロータリークラブの

皆様方にお会いできましたこと、誠に光栄であります。どうぞよろしく願いいたします。先ほど井上会長、中谷幹事、そして役員の皆様よりいろいろとお話をいただきまして、今後の地区運営に大いに活用させていただきますと思っております。

大阪城南ロータリークラブは1969年、金子会員を初代会長として創立されました。45年の長きにわたり地区にご貢献いただきました事、感謝申し上げます。また、光信会員にはチャーターメンバーとして45年の長きに在籍いただきましたこと、2660地区の誇りであります。今後ともよろしく願い申し上げます。そして昨年度は、立派に45周年記念事業をされましたこと、誠に素晴らしいことでもあります。記念祝典に参加させていただき、さすが大阪城南ロータリークラブと感服いたしましたこと、いまだに記憶に残っております。

そして、1996-1997年には中川会員、2011-2012年には岡部会員を地区ガバナーとして、そして2005-2006年には畑田会員、そして境会員には次年度のガバナー補佐として輩出しておられます。

また、岡部泰鑑会員には、地区危機管理委員長、地区青少年合同委員長会議委員長、地区財団監査委員長、西谷会員、岡部倫正会員には地区米山奨学委員会に出向していただき、地区活動に貢献をしていただいておりますこと、高いところからではございますが、あらためて、お礼を申し上げます。同じIM 8組のメンバーとして誠に鼻の高いことでございます。

本年度RI会長は台湾台北RCのゲイリー ホアン氏ですが、そのテーマはLIGHT UP ROTARY (ロータリーに輝きを)であります。それを受けまして地区としてのテーマは「ひとりひとりの輝きで、あなたの地域を輝かそう」であります。今回、ガバナー月信7月号を全会員に配布いたしましたので、RIの方針、地区の方針の詳細につきましては、その7月号を参照していただきたいと思っております。

ロータリーの基本方針は「親睦」と「奉仕」であります。私はPETS、地区研修・協議会におきまして「親睦は石垣 奉仕は城」と申しました。いくら立派なお城でも、砂上の楼閣ではやがて崩壊いたします。クラブの皆様が親睦で結ばれていると一体感が増し、奉仕の効果がより大きくなり、大きな感動を共有することが出来るのです。また奉仕を通じて、親睦が深まることを多く経験いたしました。親睦を燃料とし、奉仕の炎を燃やしていただきたいのです。「親睦」と「奉仕」の結果、すなわち「ロータリー活動」の結果、私たちは何を得るのであるでしょうか。それは「寛容の精神」と「信頼感」であります。「親睦」と「奉仕」を通じて、互いに理解し合い「信頼」と「寛容」を感じあうわけであります。

そして、皆様の心に触れる奉仕活動を見つけていただきたいのです。その「奉仕」を深めていただければいいわけであります。主役はあなたであります。ロータリーの奉仕は、皆様の思いに応えるだけの実に多彩な奉仕活動を行っています。きっとあなたの心に響く奉仕があるはずであります。

「一隅を照らす、これすなわち国の宝なり」という言葉があります。皆様おひとりおひとりがご自身の周りを照らすことが結果として全体を照らすという考え方があります。まさに「Light up ROTARY」、「ひとりひとりの輝きで、あなたの地域を輝かそう」であります。

次に、「職業奉仕」について考えてみたいと思えます。職業奉仕とは、「職業をもって社会に奉仕する」ということですが、これはコンプライアンスを守るとか、



▲ 記念撮影

職業倫理を考えるとかよりも、むしろ個人としてご自身の職業とどのように向かい合うかという、いわゆる職業観、人生観に基づく奉仕と考えられないでしょうか。自分の仕事がどのように世の中に役に立っているのかを考えながら、そして感じながら仕事を出来るようになることが、ロータリアンの目指すべき姿ではないかと思うわけであります。その指針が「4つのテスト」であり、「最も奉仕する者、最も報われる」という言葉であります。世の中にもっと役立つことは何か、私たち自ら考え、信じる職業奉仕をすべきではないでしょうか。

未来は若者によって作られます。そして若者たちは、私たちを見て未来を感じているのです。もし、若者たちが元気のない、力のない、将来を期待していない私たちを見ていたとしたら、明るい未来を予測することができるではありませんか。若者の前では、明るい未来、力強い未来を語って欲しいわけであります。

私たちの地区大会は12月5日、6日と行われますが、テーマは「英知を集め未来を築こう、今 羽ばたこ

う、未来に向かって」と致しております。地区大会につきましては例年同様、全員登録をお願いいたしたいと思っております。予算の関係上、皆様にあらためてお願いにあがる事が出来ませんので、代わりまして全員のご登録とご参加をお願いいたします。

本年度は、ゲイリー ホアンRI会長の推奨事業であります「ロータリーデー」の実施をお願いいたしております。また各クラブのロータリーデーの集大成を地区大会の一環として、2015年5月5日のこどもの日に「ロータリーフェスティバル Light up OSAKA」と銘打って、中之島公会堂を借り切りまして行う予定であります。

今年度のもう一つのキャッチフレーズは、「楽しいロータリー、待ち遠しいロータリー、わくわくするロータリー」であります。皆様が集うかぎり楽しくなくてはなりませんね。いろいろな楽しみを皆さんご自身のクラブの中で見つけてほしいわけであります。

私が申し上げたいことは、皆様おひとりおひとりが主役であり、皆様おひとりおひとりが活性化すれば、

〈4つのテスト〉言行はこれに照らしてから

真実かどうか

みんなに公平か

好意と友情を深めるか

みんなのためになるかどうか

自然と英知が集まり、未来を築く力が湧いてくるということでもあります。「今 羽ばたこう、未来に向かって」であります。

大阪城南ロータリークラブの皆様は、私たちの仲間であります。また、2660地区におきまして、なくてはならない存在であります。共に力を合わせ、意思の疎通をはかり、この伝統ある2660地区のクラブであってよかった、ロータリアンでよかったと言えるように感じていただき、今後とも益々のご発展、ご活躍をされることを祈念いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

にこにこ箱

9月19日(第3例会)

- 泉ガバナーをお迎えして。講話よろしく。
井上会員
- 泉ガバナーをお迎えして。
岡部(泰)会員
- 遊びすぎで、腰痛になり1ヶ月休みました。
野中会員
- 泉ガバナーようこそいらっしゃいました。
中谷(徹)会員
- お祝い 1件

(編集担当 岡部(倫)・武田)

■ ロータリーの豆知識

• ロータリーの目的

ロータリーの目的を簡潔に表明したものです。

ロータリーの目的を受諾し、定款・細則を遵守することを誓約した人だけが、ロータリアンとしての特権が与えられます。いかなる理由があろうとも、そのことを知らなかったとか、そのことが書かれた印刷物を受け取っていないという言い訳は認められません。

その歴史を簡単に振り返りますと、

1906年1月、シカゴ・クラブ定款が初めて制定された時点では、まだ綱領は存在しておらず、7条の定款と12条の細則からなる規約ですが、定款そのものが、ロータリーの目的を表わすと共に、綱領の役目を兼ねていました。

1910年には、全米16クラブの連合体として全国ロータリークラブ連合会が結成され、最初のロータリーの綱領が制定されました。

1912年、アメリカ以外の国にロータリーが拡大され、連合会の名称が、国際ロータリークラブ連合会と変更されたことを機会に、綱領が抜本的に改正されると共に、この年度から、国際ロータリークラブ連合会の綱領とロータリークラブの綱領とが分離されました。

その後、国際大会の折に幾度も変更があり、

1951年に開催されたアトランティック・シティ大会において、国際ロータリーおよび標準ロータリークラブ定款が改正され、Objects of RotaryがObject of Rotary に改められ、それまでの4ヶ条の綱領が1ヶ条の本文と4つの付随項目に変更されました。

1989年、規定審議会で女性会員の入会が認められたため、第4項のprofessional menがprofessional personに改正されました。

2013年、「ロータリーの綱領」という日本語訳は、英語の原文と比較して妥当ではなく、また内容や表現が理解しにくいとして、もっと理解しやすい平易な文章に変更され、「ロータリーの目的」と改訳されるとともに、全文の翻訳が見直されました。

• 「ロータリーの目的」(新しい日本語訳)

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。

具体的には、次の各項を奨励することにある

1. 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること
2. 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること
3. ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において日々、奉仕の理念を实践すること
4. 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること

付記「ロータリーの目的」の4つの項目は、等しく重要な意味を持ち、また同時に行動を起こさなければならないものであるということで、RI理事会の意見が一致した。

(文責 丹治正博)

会員増強にご協力を!!